



Yamagumi 6<sup>th</sup> grade

担任が焼いたレーズン酵母パンを食べた子どもたちは、ドライイーストを使わずにパンが発酵したことに驚き、レーズンと水だけが入った瓶のフタを開けるとぷしゅうううという勢いある音と泡が出たことに驚き天然酵母パンを作ってみたくらいという願いを抱いた。レーズン酵母液の香りを受け入れずらそうにしていた子たちは匂いが臭いけどいつか好きになれるといいなと言って毎日のように瓶を見てフタを開けて嗅いだ。子どもたちは目に見えない酵母からの度重なる働き返しに胸を躍らせたが、酵母が静かになると子どもたちも静かになっていった。酵母育てと子どもたちのパン焼きそのとなみの中で育むものとは…。